



G・M・Kから、仕事一筋に

こがみちお
古賀道雄
おおもた
大牟田市長(福岡県)
Michio Koga

本市の産業遺産群が 世界遺産登録に大きく前進

政府がさる9月17日、平成27年の世界文化遺産登録を目指し、三池炭鉱関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産―九州・山口と関連地域」を推薦すると正式に発表したニュースは、構成自治体の8県11市の知事・市長にとって、まさに待ちに待ったビッグニュースとなりました。私は、わが国最大の出鉱量を誇った三井三池炭鉱が閉山したとき(平成9年3月)、市議会石炭対策特別委員長として歴史的な炭鉱閉山に立ち会いました。当時、



三池炭鉱関連施設が念願の世界遺産政府推薦に決定

本市に立ち寄ったスチュワート・スミス氏(英国)や加藤康子さんなど多くの著名な産業遺産研究家と出会い、三池炭鉱関連施設の素晴らしさと保存管理の重要性を知ることになりました。

それ以来、「近代化産業遺産を活用したまちづくり」を議会はじめ地元新聞などでたびたび主張するも、多くの賛同を得られることはありませんでした。

私は、本年12月2日で市長就任満10年となります。これまで3回の市長選挙はすべてマニフェストを掲げて戦いました。そしてマニフェストの政策や施策・事業は、有権者との約束事として、必ず総合計画に反映させ、行政運営の目標として実行することを基本としています。

三期目(23年11月施行)の選挙マニフェストで、「大牟田の産業遺産を世界の文化遺産とします」を一番目の公約に掲げることに、後援会のなかでも「市民意識がまだ追いついていないので外した方がよい」など異論が続出しましたが、最終的には私のライフワークとして認めてもらった、という経過があります。

今回、政府推薦に決定し大きく前進したことは大変うれしいことですが、2年後の世界遺産本登録を実現するために、「百里を行くものは九十を半ばとす」の喩えのとおり、今後とも国や関係自治体と連携し、万全の体制で対応していくと

今後の目標は人材育成の仕事

私は、今年11月25日で満70歳、古希を迎えます。

振り返れば、企業経営と行政トップという、目的や活動域の異なる2つの世界を経験できたことはまさに天佑でした。楽しいことも厳しいこともありましたが、私にとっては貴重な財産でもあります。

さらに、議員生活の空いた時間を活用して取った社会保険労務士と行政書士の資格を有し、現在でも両会員を継続しています。最近、これらの知識と経験は、次世代の若人に伝えて行かなければならないのではないかと痛切に思うようになりました。

今、これからの市役所を担う行政マンを対象に「行政における経営マネジメント」と題する管理職研修を実施すべくカリキュラム作成など準備をしています。この研修は単に知識を得るのではなく、参加者全員がお互いの経験や試練を振り返り、自分自身の経験の意味を理解するとともに、他のマネジャーとの対話を通じて深い知恵を得るような方式にしたいと考えています。時間外で、長期間(約6か月間)にわたっての研修となりますので、希望者による受講となります。

私は、3年前から市内小中学校に出か

もに、地元のさらなる機運醸成に努めていく必要があると考えています。

趣味は仕事か?

私は大学卒業以来37年間、民間企業に勤務しました。一貫して総務・人事畑でしたので、G・M・K(ゴルフ・マジヤン・カラオケ)は必須科目と言われ、仕事の合間に、いや仕事の 일환として毎日どちらかをやっていたように思います。今なら離婚の原因になっても不思議ではありませんが、当時は高度経済成長時代です。サラリーマンは皆、企業戦士としてがんばっていました。

平成元年、私の地元大牟田市にある基幹工場に転任後、三期12年間企業代表として市議会議員を歴任しました。ここまでは、三種の神器であるゴルフ・マジヤン・カラオケは私の趣味として続けていました。

平成15年に行われた市長選挙に初めて挑戦しましたが、相手は現職でしたので、私にはどの政党や企業、団体の応援もありませんでした。やむを得ないことです。そこで、私の政治理念や政策に賛同してくれる人たちが中心になり、地べたを這っての徹底的な「草の根選挙」を展開した結果、僅差で勝利しました。

市長になって、有権者に約束したマニフェストの「聖域なき行財政改革による財源確保」の「まちづくり出前授業」を行っています。ここでは、「まちの成り立ち」や「石炭産業の近代化とまちの発展・成熟の歴史」および「これからのまちづくり」について、パワーポイントを使ってただわかり易く話すことにしています。

感想文には、「郷土の深い歴史がよくわかった」「大牟田に愛着と誇りを持てるようになった」「将来この地を離れるようになったら胸を張って郷土のことが話せる」など、総じて好評のようです。

今後は、さらに未来を担う地域の若人の人材育成に携わっていかれたらというのが私の夢です。



世界遺産候補の宮原坑をバックに日課のウォーキングをする筆者



まちの歴史を次の世代に知ってもらう「まちづくり出前授業」